2010年8月1日発行（隔月発行）

図書館報 ぷらっっ★篠崎

０１３号

CONTENTS

P2 特集　燃えよ！熱い本！
P3 そのメロディーに魅せられて
「ライヴ・イン・ハイドパーク」
レッド・ホット・チリ・ペッパーズ
P3 スタッフのセレクション！
「千一夜物語　マルドリュス版」
P4 人物ブックマーク
「大場政雄」
P4 江戸川まいにんぐ
「浅間神社の富士講碑」

今号のトピックス　篠崎図書館のホームページをご存知ですか？

まず、検索エンジンで「篠崎文化プラザ」を検索し、篠崎文化プラザのホームページを開いてください。そのトップページのINDEXに「篠崎図書館」の文字がありますので、そこをクリックすると、篠崎図書館のホームページがご覧いただけます。（http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/）

利用案内

閲覧席、メディアワークルームなどの利用方法を紹介しています。

企画・イベント

いま行われている特集展示、講演会・演奏会などのイベント情報を紹介しています。

BLOGしのざ記

タイムリーな図書館の情報や、図書館スタッフのおすすめの本、地元情報、館長のつぶやきなどを綴ったブログが、この「BLOGしのざ記」。毎週、旬な情報をスタッフが書き込んでいますので、ぜひご覧ください！

図書館報

創刊号からのバックナンバーを、PDFファイルでご覧いただけます。

リニューアル

8月にホームページをリニューアルし、新たに２つの項目が加わることになりました。１つは毎週届く新刊本情報、もう１つは特集展示した本のリストです。くわしくは後日「ＢＬＯＧしのざ記」にて。

図書館からのお知らせ

書架展示に注目!!

8月は夏休み企画として、各書棚にてミニ展示を行います！
例えば・・・
・文庫棚―“真夏の夜のミステリー！”
・小説棚―“夏を感じる小説”　などなど。
お気に入りの夏の１冊を探して下さい。

8月以降も、随時書架展示を企画していきますので、ご期待下さい。

イベント情報

ライブラシネマ篠崎

8月28日（土）
14:00～16:00（開場：13:30）
作品「若草物語」
（1933年、アメリカ）

場所：篠崎文化プラザ講義室
定員：70名（当日受付、先着順）
どなたでも参加できます。
入場料：無料

（あらすじ）
マーチ家の四人姉妹を主人公に、隣家の富豪の息子とその家庭教師を巡る恋愛騒動や、四姉妹の成長と死別を描く。少女時代のきらめきと感動がよみがえる、世界中で愛され続ける名作。

お問合せ：篠崎図書館（03-3670-9102）まで

人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

第九葉　大場政夫　永遠のチャンプ

1973年1月2日の日大講堂。大場の5度目の世界タイトル防衛戦は、異様な熱気に包まれていた。試合開始早々、挑戦者のチャチャイ・チオノイが放った右ロング・フックをまともにくらってダウンした大場は、その倒れ際に右足首をひねり、捻挫してしまったのだ。足を引きずりながら戦う王者を見て誰もが、今度は負けるかもしれない、と考えた。ところが、危ない場面を何度も乗り越え、必死に打ち合い、大場は徐々に試合の主導権を取り返していったのだ。勝利への期待に沸く日大講堂。そして、運命の第12ラウンドを迎える。

ゴングが鳴った。ラウンド開始2分過ぎ、大場の強烈な右がチャチャイの顔をとらえた。よろめくチャチャイに野獣のように襲い掛かった大場は、速射砲のような連打を打ち込み、1度目のダウンを奪った。何とか立ち上がったチャチャイだが、もう大場の勢いは止められず、このラウンド、3度目のダウンでレフェリー・ストップ！　大場は、劇的な逆転勝利をものにしたのだった。

ところがこの試合の23日後、大場は首都高で大型トラックと正面衝突してしまう…。彼は23歳の若さで、世界チャンピオンのまま、この世を去ったのである。

大場政夫関連作品

「首都高に散った世界チャンプ」大場政夫　織田淳太郎著　小学館　B788オ　葛西所蔵

極貧の生活から、世界チャンピオンにまで上り詰めた男を描くノンフィクション作品。

江戸川まいにんぐ　発掘　第13回

浅間神社の富士講碑

「区内路上観察」で遭遇した、けっこうレアで、それでいてけっこう役立ちそうな情報を毎回お届けしています。

篠崎の浅間神社は、天慶元年（938年）の創建といわれ、江戸川区内で最も古い神社です。7月1日の祭礼日には日本最大の幟祭りが行われることで有名ですが、今回ご紹介するのは境内にある「富士講碑」です。

富士信仰が最も盛んだった江戸時代、富士山参拝は江戸庶民にとって生涯の夢でしたが、当時は交通事情も悪く、そうした中、富士山崇拝を目的とした「富士講」が結成され、講碑が建てられました。この講碑には、一般と異なり講印や何々同行という文字がなく、中央に「元祖食行身禄価」と書かれ、下部に三猿が描かれています。講碑としては珍しい形式で、貴重なものとのこと。筆者の拙い撮影術では、この猿たちを写すことができず残念。

現代人にとっても富士山はなかなか遠い場所。猿たちに会いに足を運んでみてはいかがでしょう。

参考資料：「江戸川区の史跡と名所」江戸川区教育委員会　K1-29　篠崎ほか所蔵

編集後記

ぷらっつ道は、前進あるのみと見つけたり！（風雲ふわふわ丸）／病弱の体にはキツイ夏がやってきました。早く秋よ来い?!（病弱亭弱々）／夏を感じるものがたり。今年の夏の１冊にいかがですか？（ジーク・信玄）／せんげん様の森（境内）はとても静かでした。（愛燦燦）

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館
住所：〒133-0061
江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内
TEL：03-3670-9102
[しのざき文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/